

## 2 農林水産振興ビジョン タフ・ビジョン *Tono Agriculture Forestry Fisheries Vision*



足腰の強いタフな農林水産業をめざす

# I

## 農林水産振興ビジョンの目的、名称及び計画期間

農林水産振興ビジョンは、本市農林水産業の目指すべき姿や振興に向けた基本理念を明らかにするとともに、実現するために推進すべき施策の方向を示しています。

その名称は、本市農林水産業の総合的な振興を図るための前ビジョンを引き継ぐものとして、第2次遠野市農林水産振興ビジョンとします。

トオノ アグリカルチャー フォレストリー フィッシャリーズ ビジョン  
Tono Agriculture Forestry Fisheries Vision II

の頭文字をとって、「タフ・ビジョン II」とし、引き続き「足腰の強いタフな農林水産業」を目指します。

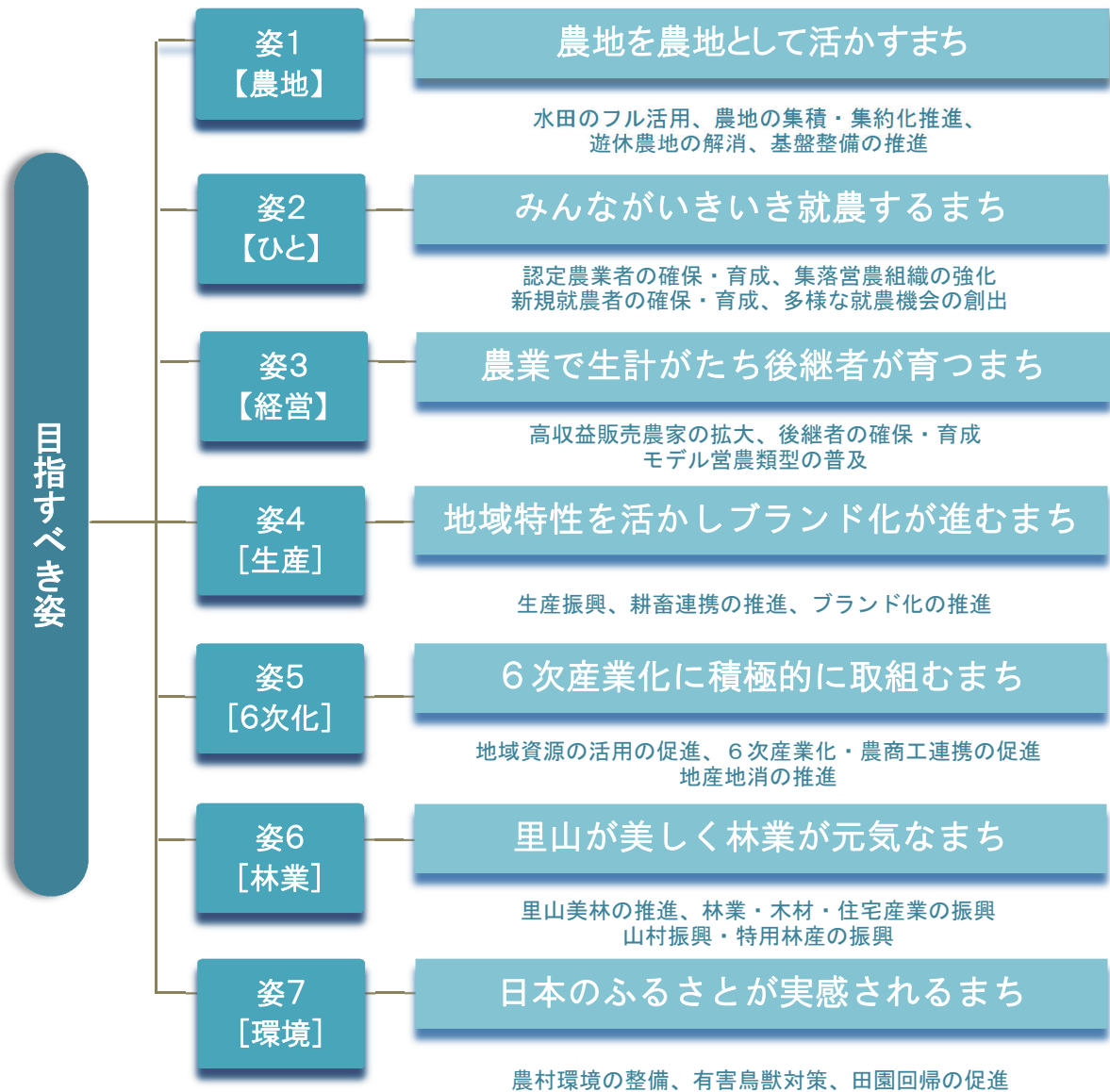
計画期間は、第2次遠野市総合計画前期基本計画期間にあわせ、5年間(平成28年度～32年度)としました。



## II

# 農林水産業の目指すべき姿と実現のためのビジョン

本市の農林水産業の目指すべき姿と実現のためのビジョンを、次の7項目としました。



姿1  
【農地】

## 農地を農地として活かすまち

耕作放棄地が解消され、荒廃農地が減少し、市内全ての農地に作物が作付けされています。

### 取組項目

水田のフル活用、農地の集積・集約化推進、  
遊休農地の解消、基盤整備の推進

経営所得安定対策制度の普及促進により水田のフル活用を推進します。転作においては、麦・大豆・飼料作物、加工用米及び今後需要拡大が図られる飼料用米の作付けを推進します。

地域農業マスタープランの達成と農地中間管理事業を推進し、担い手や集落営農組織への農地集積・集約を促進します。

また、農業委員会、関係機関・団体と連携し、耕作放棄地や不作付地の解消対策を強気に推進し、市内全ての農地に作物が作付けされる取組を進めます。

基盤整備については、作業の効率化、農地の汎用化と農地集積を図るため、ほ場整備を推進します。



## 姿2 【ひと】

### みんながいきいき就農するまち

老若男女がその特徴を活かし、個人、集落営農、農業法人、企業等で、就業機会や収入が確保され、生きがいを感じ農業に従事しています。

#### 取組項目

認定農業者の確保・育成、集落営農組織の強化  
新規就農者の確保・育成、多様な就農機会の創出

認定農業者などの担い手や、集落営農組織が農作業を効率的に行うことが可能になることで、高齢者や女性が集落営農や農産物直売施設などで活動できる環境を確保します。

また、今後ますます地域農業における認定農業者や集落営農組織の役割が重要となることから、認定農業者の確保・育成と、集落営農組織の経営の体質強化、法人化への誘導支援、新たな集落営農組織設立に向けた支援を進めます。

農業従事者の高齢化や減少に歯止めをかけるため、新規就農者の確保・育成を推進します。

さらに、青年・壮年・高齢者・男女の農業者が、それぞれの技術や力、知識、経験を活かし、自給的農家、販売農家、各種グループ・団体、集落営農、農業生産法人・企業において役割分担し、就業機会や収入を得て、生きがいを感じて農業生産活動ができる取組を推進します。



姿3  
【経営】

農業で生計がたち後継者が育つまち

他産業並みの所得を上げる農家が増え、その経営を学んだ後継者が育っています。

取組項目

高収益販売農家の拡大  
モデル営農類型の普及、後継者の確保・育成

栽培指導や流通対策を中心に人的体制を充実し、農業経営の規模拡大・多様化・多角化、付加価値化を支援し、高収益販売農家の拡大を図ります。

遠野テレビや農林水産振興大会等各種大会を活用し、高収益を上げるモデル農家の営農及び経営状況を積極的に紹介し、農業者のさらなる意欲を喚起し、後継者の確保・育成を図ります。



## 姿4 【生産】

### 地域特性を活かしブランド化が進むまち

地域特性を活かした生産物の品質が高まり、生産量も増え、遠野ブランドが定着しています。

#### 取組項目

生産振興、耕畜連携の推進、ブランド化の推進

本市農業生産の基盤である米については、経営所得安定対策制度を活用し、コスト削減や大規模化、多角化を推進し、所得の確保を図ります。また、盆地特有の寒暖の差や豊富な水、中山間地域という本市の地域特性を活かし、野菜や花き、工芸作物、特産品、特用林産物の項目ごとに重点品目を定め、その支援策を講じ生産振興を図ります。

また、米や野菜、工芸作物の耕種と、和牛繁殖や酪農の畜産との小規模複合農家が多いのが本市の特徴であり、耕種農家と畜産農家が連携し、相互に堆肥と牧草や稲わらを供給・利用する仕組みが定着していることから、「耕畜連携」を柱に据えた循環型農業を強力に推進します。

ブランド化の推進については、消費者や市場が求める農産物の生産が強く求められていることから、生産する品目や品種を常に検証し、情報を活かした生産活動を強化します。

さらに、品質の高いものを大量に生産する必要があることから、特定品目の生産拡大を推進します。和牛の繁殖・肥育や養豚の分野では、企業が大規模な生産に取り組んでいることから、地域と一体となったブランド化を推進します。



姿5  
【6次化】

6次産業化に積極的に取り組むまち

地域特性を活かした、6次産業化、農商工連携の取組が進んでいます。

取組項目

地域資源の活用の促進  
6次産業化・農商工連携の促進、地産地消の推進

生産される農産物に付加価値を付け販売することによる所得の確保と、多様な労働力の発揮のため、集落営農や農産物直売組織、各種グループによる農産物加工品開発の取組と販売促進に対する支援を強化します。

農商工連携の推進については、(一社)遠野ふるさと公社や市内商工業者、食品加工メーカーと連携した新たな特産品開発と販売促進を支援します。

また、地産地消の取組を拡大するため、農産物直売所に参加する生産者を中心に、本市の農業の特徴である少量多品目生産を推進します。

さらに、農産物直売所や学校給食センターを中心に、地域で生産された農産物の地域内消費の拡大により、生産者と消費者との結びつきを強め、顔が見える安全・安心な流通の取組を進め、地産地消を一層推進します。





姿6  
【林業】

里山が美しく林業が元気なまち

森林整備が進み、地域から生産される木材を活用し、元気な林産業が展開しています。

取組項目

里山美林の推進、林業・木材・住宅産業の振興  
山村振興・特用林産の振興

里山美林の推進については、市の面積の約8割を占める森林の多様な機能を持続的に発揮できるよう、適切な除間伐や再造林などの森林整備と、資源の利用を拡大するため作業道の整備を推進します。

また、緑化祭や体験活動を通じた市民の森林活動の参加も推進します。

林業・木材・住宅産業の振興については、遠野地域木材総合供給モデル基地を中心に、域内の川上から川下までの木材関連産業を連携させ、原木や製材品に付加価値を付けて出荷する体制を一層強化します。そのためには、地域から生産される木材を、地域の中で加工し使うことが重要であり、市が率先して公共施設の木造化・木質化にこだわったまちづくりを推進します。

木材は、環境負荷が少なく再生可能な資源であることから、公共施設を中心に木質ボイラーを導入し、木質バイオマスの利用拡大し低炭素社会への取組を推進します。



姿7  
【環境】

日本のふるさとが実感されるまち

農地の多面的機能が維持され、市民協働により農村文化の保存・伝承と、農村景観が保全されています。

取組項目

農村環境の整備、有害鳥獣対策、田園回帰の促進

本市の地形は、市街地を中心に、その周囲を農村部が、その周囲を牧場や山林が取り囲むという国内でも稀な盆地になっています。中心部では商工業が展開され、その周囲で農業・畜産・水産業が展開され、その周囲では林業が展開されており、お互いの産業がそれぞれ密接に関わって、産業振興及び地域づくりが進められていることから、盆地の地形を生かした一体的地域づくりを展開します。

農業・農村は、食料生産という重要な役割を担うと同時に、自然や景観、歴史文化、伝統芸能などの地域資源が豊富に存在し、国土保全や水源かん養、多面的機能の発揮が求められていることから、市民協働による農村文化の継承や、景観保全の取組など良好な農村環境の保全を推進します。

有害鳥獣対策については、特に農作物に対する被害が深刻化しているニホンジカ対策を強化します。

